

## 1. 園の教育目標

本園は、園児の健全な成長・発達を図ることを目的としています。幼児期における遊びは特に重要であり、子ども達同士の自由な遊びこそが様々な体験や情操教育にもつながっていくものと考えます。また、自由遊びだけではなく、動と静の切り替えをスムーズにできるよう、森信三先生や岡田武彦先生が提唱された腰立教育や論語素読、その他社会生活に必要な躰の部分にも取り組んでいます。理念にあるように、職員、園児、そして保護者がお互いに信頼関係をもって「にこやかな笑顔で黙って見守る」ことのできるよう、連携を図ってきたいと考えます。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

令和6年度の重点項目

I 職員交流と話し合いの場の拡大

プロジェクトチームの発足（月1回以上の会議）

a.安全対策チーム・・・事故予防マニュアルの確認・策定、園外活動の調査、毎月の訓練及び遊具点検

b.環境美化チーム・・・花壇やプランターの世話、仏壇整理、衣装・備品の整理、園内環境の確認

c.保育研究チーム・・・保育研究・報告、行事分担の策定、職員負担軽減対策の検討、写真整理、子育てサロンの運営

II リスクマネジメント・ほうれんそう・ヒヤリハットの徹底

事故（食う、寝る、水遊び）・衛生・苦情を想定すること。

報告・連絡・相談を早めにする。

III 相談しやすい雰囲気を作り出す

職員を一人ひとりが孤立しないように声を掛け合いながら楽しく仕事ができる雰囲気を作り出すよう一人ひとりが心掛ける。

## 3. 目標・計画に対する総合的な評価結果

①について

クラスを超えた職員交流の場としてチームを創設して3年が経過しました。それぞれのチームの役割を担いながら、防犯訓練や子育てサロンの運営など、進化していています。ただ、令和6年度は大きな苦情があり、職員が一時的に疲弊したところもありますが、職員間で協力しながら、良い雰囲気の中で保育ができたと思っています。また、休憩

時間の確保も定着し、仕事と休憩のメリハリや休憩中にも職員交流につながっています。

②について

毎週のリーダー会議でスピーディな動きができていました。園長・主任・副主任における役割分担が機能していると感じています。新人職員にもハウレンソウの意義を伝えながら、ICT等を活用して情報の共有化を図れたものと考えています。

③について

全てのクラスが複数担任であることから、人間関係はその都度様々な課題があったものと認識しています。それでも、仕事と割り切るところは割り切りながらも、先輩保育士や園長に相談するなど、相談しやすい雰囲気は創ることができました。退職者がゼロということが、その結果の一つとして示されていると考えます。

#### 4. 今後取り組むべき課題

今後は引き続き職員の結束と良い雰囲気の中で園運営を心掛け、同時に保護者が安心して預けられるとともに、子ども達も同朋らしく伸び伸びと、元気で明るく過ごせる保育環境の整備に努めて参ります。特に、子ども達の発達において保育を見直し、より刺激のある県外の研修に輩出することで職員のスキルアップに繋げて参ります。また、保護者の声にもしっかりと耳を傾け、保護者が安心かつ子育てを楽しめる環境、関係を構築できるようにして参ります。さらに、ぴあるーとなど法人内他事業所との連携を強化し、より良い子ども達の発達支援体制を構築して参ります。